

平成26年度

特別会計の予算審議

質問 医薬品の購入経費

について、前沢診療所は衣川診療所と比較したとき、入院患者あるいは外来患者では衣川診療所の3倍ぐらいあるのに、購入経費が低いのはどういうことか。また、医薬品の購入は奥州市の病院全体として「まとめ買い」をしているか。さらにはジェネリック（後発薬）の使用についての市民への啓発がなされているか。



前沢診療所敷地内に薬局を設置

答弁

平成25年度から前沢診療所は院外処方ということで、敷地内に薬局を設置して外来患者へ提供しており、そのため医療収入としての薬代の減や薬の購入経費の減などで約1億円の大幅な減になっている。また薬等の「まとめ買い」については特に薬以外の医療材料を中心に単価を低く抑えるために行っている。ジェネリックの使用については、医師との連携のもと年2回ほど国保の保険者の方々に説明、紹介している。

質問

江刺区に診療所設置条例があり、現実に運営されているのに、平成26年度予算に診療所を廃

止することを前提に運営費を計上しないのは、予算編成上ありえないし補正予算で専決するというのでは予算編成の意味がなく、予算編成の原則に反する。



常任委員会で梁川診療所を調査

答弁

平成26年度国民健康保険特別会計予算につ

いて、江刺区内の5診療所の運営に関わる経費を見込まないとして調整していたが、年度内に民間医療事業者との協議が整わなかった場合、事業に支障をきたすことから、改めて予算を調整するため、本議案を撤回する。なお、本予算は再度精査して、本会議の最終日に追加提案する。

質問 施設介護サービス

給付費が前年度に比べて1億1900万円の減になっている。減額の理由を聞きたい。

答弁

平成26年度から施設介護サービス給付費の中に含まれているユニット型の施設で、奥州市には胆沢区のやまゆり会、前沢区つつじ会の2施設でやっている。定員が各20人で、ユニット型の特別養護老人ホームまたは施設で、今後は地域密着型として進んでいくものと思われ、それが約1億1000万円というこ

とで、全体的にはこれまでの給付費とは大きな変動はない。

質問 看護師が不足して

いると言われているが、採用についての対応策はどうなっているのか。また夜勤2人体制で救急車を受け入れた場合、病棟管理はどうなるのか。

答弁

看護師が不足しているのは十分に認識している。充足に至っていないのは努力の成果として見えないということ。決して安穩として先送りしているわけではなく、鋭意努力を重ねているので、できるだけ早い時期に結果を出せるようにする。



奥州市国民健康保険まごころ病院